

ユニバーサル就労とは…

<理念>

「はたらきたいのに、はたらきにくいすべての人」が働けるような仕組みを作ると同時に、誰にとっても働きやすく、働きがいのある職場環境づくりを目指していく取り組みです。

そして、より多くの人々が、その人なりの働き方で社会参加できるユニバーサルな地域社会づくりを目指しています。地域社会の中で、自分なりの働き方で「わたしたちは会社ではたらいています」と実感できるシステムです。

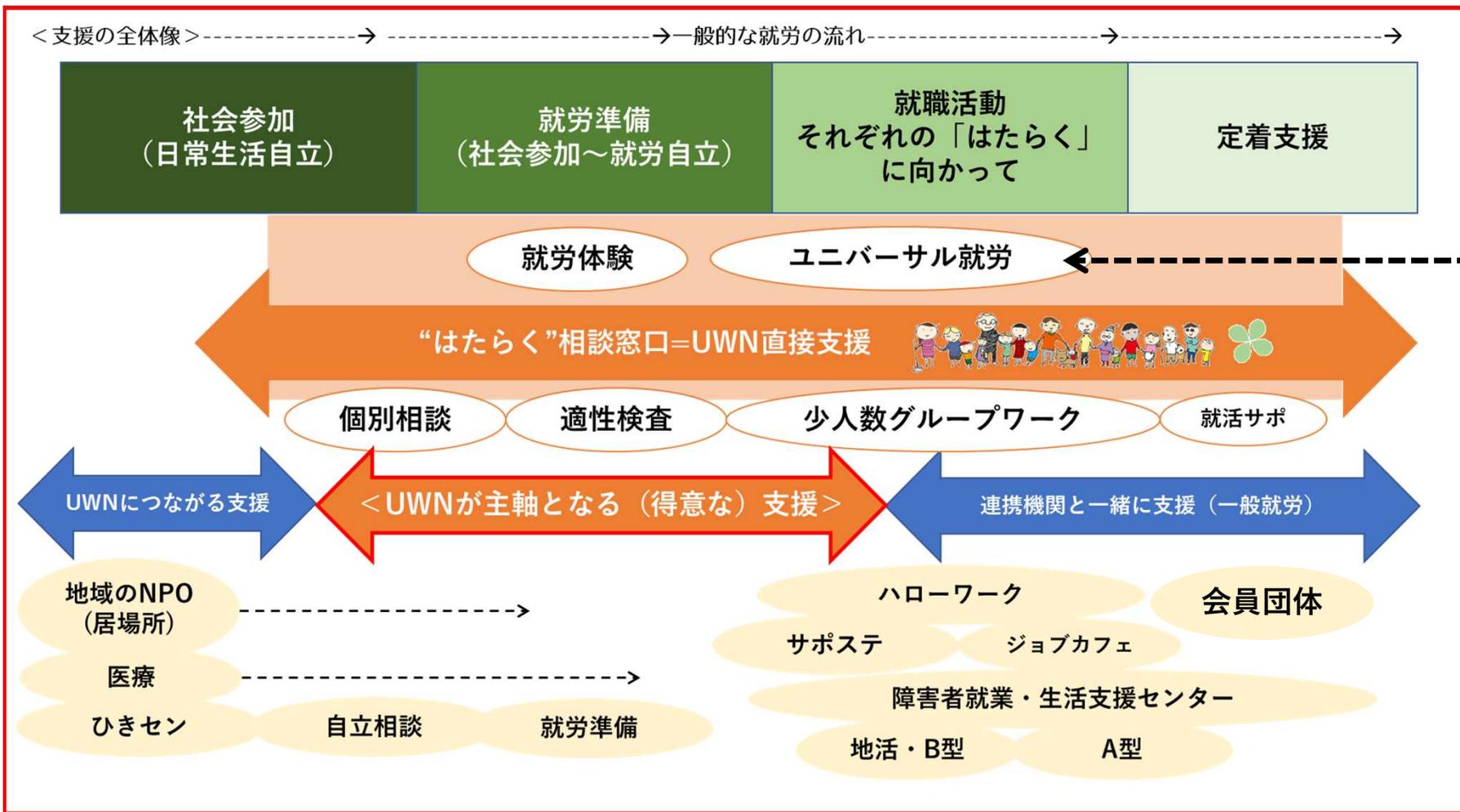
特徴①対象者を限定しない

「働きにくさ」は障害者手帳の有無だけではかれないもの



「ユニバーサル就労支援」概念図

=ユニバーサル就労を選択肢の一つとして、その人なりの自立やはたらき方を共に考え支援をしていくUWNの支援の在り方



- ・対象者を限定しないはたらき方
- ・4つの働き方
- ・業務分解
- ・支援は当事者と受け入れ事業所の2方向

「ユニバーサル就労支援」の流れ（就労準備支援事業も同様）

インタビュー（初回面談）

- ・ 定期面談
（関係構築、課題整理、目標設定）
- ・ 適性検査
（レディネステスト・GATB・MWS・TEG）
- ・ グループワーク
（雑談・料理会・SST・2分間トーク…）
- ・ 個別ワーク
（上記ワークの他、マンダラワーク、マインドマップ等必要に応じて開発）

・ 報酬や交通費の出るポスティング

・ 多様な事業所での短期就労体験

※個別～4-5名の小集団での動きに慣れる
それぞれの課題に合わせてメニューはオーダーメイド

アセスメント期間

最終方針の決定

一般就労に向けた就職活動サポート

障害者雇用を目指した就職活動サポート

専門的なトレーニングを目指して就労移行支援事業所等の障害福祉サービスへ繋ぎ

アセスメントの結果をお伝えしながら、障害福祉サービスが使えるよう手帳取得支援

より大人数のワークや自主的な就活のため他就労支援への繋ぎ

ユニバーサル就労を目指し、希望事業所の検討や課題整理を再実施

その人なりの選択肢で最終ゴールを設定



「ユニバーサル就労支援」のアセスメント

- ・ **その人の働きづらい理由を徹底的に分析し、一緒に考える**
 - ・ 離転職が続いたのはなぜか？
 - ・ 人間関係がうまくいかないのはなぜか？
 - ・ 本人の特性は何か？

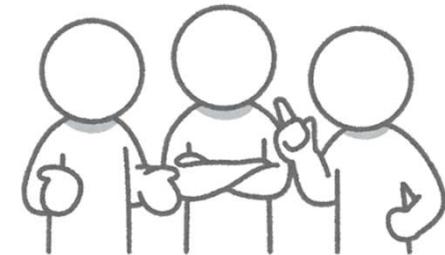
etc…

<客観的なアセスメント>

- ・ レディネステスト
- ・ GATB検査
- ・ 幕張ワークサンプル
- ・ 東大式エゴグラム

<主観的なアセスメント>

- ・ 相談（生育歴等の確認）
- ・ グループワークでの様子
- ・ 就労体験での様子
- ・ 他の支援機関での様子



- ・ こまめな面談を通して、本人と一緒に理由を考える。また、就労体験では外部の方からも意見をいただきながら **自己理解** を深める。

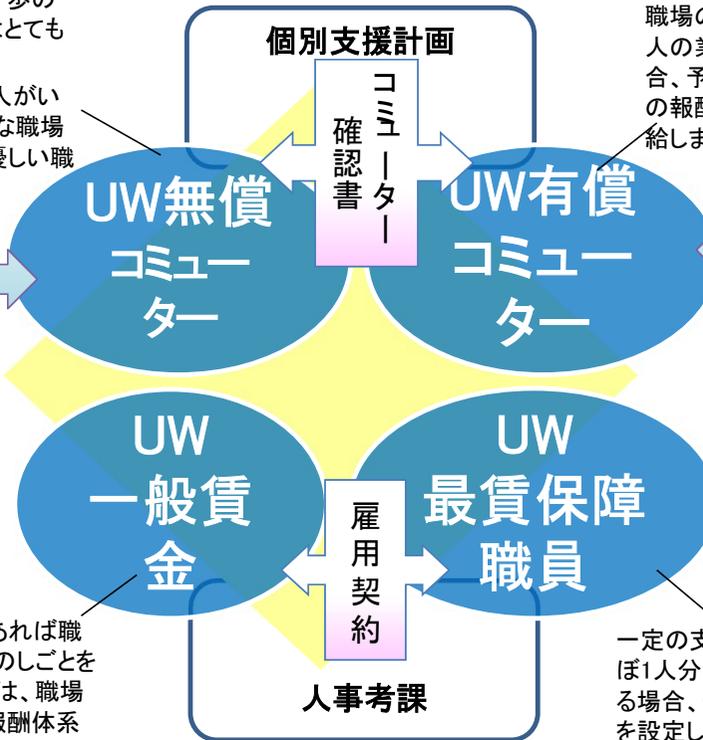
⇒ 「伴走」支援をするためには、初期段階で一緒に本人の自己理解を深めていくことが不可欠

風の村で実行しているユニバーサル就労4つの段階 (狭義のユニバーサル就労システム)

対価・形態

社会に出るための第一歩の受け入れをする際にはとても有効です。
その効果として、その人がいることでユニバーサルな職場環境となり、だれにも優しい職場となります。

- ・報酬なし
- ・交通費支給



1人分の仕事でなくても職場の業務分解から、本人の業務が遂行できた場合、予め設定した一定額の報酬を交通費と共に支給します。

- ・一定の報酬
- ・交通費支給

一定の支援・配慮があれば職場の他の職員と同様のしごとを行うことができる場合は、職場の他の働き手と同じ報酬体系で賃金を設定します。

一定の支援・配慮があれば、ほぼ1人分の仕事を行うことができる場合、最低賃金を上回る報酬を設定し雇用契約を結びます。